

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 西岡 里菜  
所属 (School) 現代システム科学域  
学年 (Grade) 1 回生

留学先 (Name of overseas institution)  
カリフォルニア大学アーバイン校  
留学期間 (study abroad period)  
22 日間

記入日 (Date) 2017 年 10 月 10 日

## 留学レポート Study Abroad Report

私はこの夏休み、カリフォルニア大学海外英語研修に参加しました。この研修を通じて、様々なことを学ぶことができました。その内のいくつかについてお伝えしようと思います。

まず、日本人は英語を書くこと・読むことはできるが、話す力がないとよく言われます。私はこの研修に参加することで、英語を話して日常生活を送りたい、よりネイティブに近い話し方を学びたいと考えていたため、どんどん積極的に英語を話していこうと思っていました。この研修では、ホストファミリーと毎日生活を共にし、大学でも授業が終わった後 CP meeting や Activity に参加することができます。つまり、現地の人々や他の国から来た留学生と一日中話す機会があるということです。そのため積極さと挑戦心があれば、意外と簡単に英語を話すことができます。



私にとって大変だったことは英語を聞き取ることです。日本で英語を聞く機会は、英語の授業や教科書や洋楽などの CD を聞くときが主でした。そのため、話すスピードもゆっくりで、発音もとても明瞭です。しかし、現地の人々はもちろん他の国から来た留学生も、話すスピードはとても速く、少しなまっています。そのため最初の 2 週間は、一つひとつの単語の意味はわかっても、相手が何を話しているのかを完璧に理解すること、そして会話を発展させることが出来ませんでした。そこで、私はまず相手が何を伝えようとしているのかを知るため、何度も聞き返したり、話している内容を想像しそれが合っているかを相手に確かめたりすることから始めました。相手も私が留学生だとわかってくれているため、真摯に助けしてくれます。最初のうちは恥ずかしかったり、申し訳なくなったりしますが、この研修の目的は何かを念頭に置き、相手の迷惑がかからない程度でどん欲に話す・学ぶことが大切だと思います。特にホストファミリーは留学生を引き受けよう・助けようという気持ちを持って私たちを受け入れてくれています。英語を聞き取る練習がしたいと伝えれば、毎日快く練習を手伝ってくれました。また、ホストファミリーとは研修中ずっと同じ家で過ごすことになるため、しっかり情報を共有し、交流することが大切です。だから、話す練習をする中で好きな歌や専攻している分野、アメリカ文化、日本についてどう思っているかなどを知ることができ、一石二鳥だと思います。また、ホストファミリーと交流する上で何か特技や趣味、例えばスポーツや音楽に関して、があるとより話しやすいと感じました。私の場合ピアノを弾くことが出来るのですが、ホストファミリーの家にピ

アノが置いてあり、ホストブラザーもピアノを弾けるため、とても話が弾み、ピアノを通じて仲良くなることが出来ました。スポーツや音楽は万国共通の話題なので、することが出来なくとも、深く知っていれば役に立つと思います。

そして毎日聞き取る練習のため会話していると、残りの1週間で、だんだん意味を読み取ることができるようになってきます。ある程度聞き取ることが出来るようになってから、現地のスーパーや飲食店で英語を話してみると、ほとんど不自由なくやり取りができ、とても楽しかったです。また、会話が弾むようになるとその分もっと相手と仲良くなることが出来ました。リスニング力はすぐに身につくものではないので、生の英語にできる限り多い時間触れていることが必要だと痛感しました。私の場合、ネイティブの人々と会話することは留学してから始めたのですが、もし留学を考えているなら日本にいるときから、スピーキング力・ライティング力だけでなく、ネイティブの人々と会話することでリスニング力を高めておくとういと思います。

ここで前述した CP meeting と Activity とは何かについて触れておこうと思います。

CP meeting の CP とは Conversation Partner の略で、現地の学生が2～3人のグループに一人ついてくれます。一緒にゲームをしたり、近くのショッピングモールなどのおすすめの場所に連れていってもらえたりする中で私たちは楽しみながら、英語で会話する練習ができます。週に1, 2回ほどあるため、とても CP と仲良くなりました。また、連絡先を交換して、英語を書く練習をしながら CP と交流することも出来ます。現地のことや行きたい場所がどこにあるかがわからないときなど質問すると親切に答えてくれ、とても助けられました。

次に、Activity は大学側が用意し、現地の学生や他の留学生と交流することが出来るアクティビティのことです。私は Disney California Adventure Park や Universal Studios Hollywood、Hollywood LA ツアーなどへ土日に行くものと、平日の放課後にヒップホップダンスを教えてもらったり、一緒にスポーツをしたり、話したりするものに参加しました。土日の Activity は現地の学生が道案内とその場所のおすすめを教えてください。遊園地などは一緒にまわるだけで楽しいので、もし行くなら日本人とだけまわるのではなく、他の国からきた留学生と一緒にまわった方がよいと思います。特にお勧めは、Hollywood LA ツアーです。有名な Hollywood landmarks はもちろん Griffith observatory やアウトレットにも行きました。他の Activity の参加者は多くても20人ほどでしたが、Hollywood LA ツアーはそれよりももっとたくさんの留学生が参加しています。バスでの移動が長いので、その間に様々な国からきた留学生と交流し、知り合うことが出来ます。盛り沢山でとても楽しいので、興味が少しでもあるならぜひ参加してほしい Activity です。



最後に、この海外研修を経て、私は自分の英語力に何が不足しているのかを知り、また向上させることが出来ました。そして、実際に三週間の間、現地の家族の間に入って生活する中でアメリカ文化について学ぶことが出来ました。三週間というのはあっという間でしたが、とても濃い三週間でした。もし留学するかを悩んでいるなら、ぜひこの研修に参加してみてください。その時何か1つ明確な目的をもっていくと、とても充実した留学になるはずですよ。私も今後さらなる英語力向上を目指し、勉学に励んでいきたいと思っています。